



芦屋「九条の会」ニュース

発行責任者：片岡 隆 連絡先 090-7118-2312

<http://ashiya9.web.fc2.com/>

「戦争をしない国」を未来に繋ぐ

阪神間に住む私たちにとって、1.17は特別な日です。それは自然の大きさが想像を超えるものであることを教えてくれました。そして3.11を経験し、その質的な違いを知りました。天災である地震に人災である放射能の被害が加わった時の災害が、途方も無く大きく回復が不可能なことを思い知らされています。福島の実情無しに、政府と電力会社は原発の再稼働にのめり込んでいますが、それは戦争の惨禍についての考察と反省を欠く現政権の姿でもあります。

アメリカが世界の警察であることから撤退して中東での軍事介入を減らし、代わりに同盟国、あるいは現地の志願者を軍事訓練することによってその肩代わりをさせようとして



していると伝えられています。日本も既に合同軍事訓練を実施しています。アジアに位置して、歴史的、地理的に密接なアジア諸国と、明治維新以降、力の論理で押してきて、数多くの問題を抱えながら今日を迎えている日本。その日本の未来について昨年安倍首相は、国民より先にアメリカと口約束して、その後安保関連法（戦争法）の成立に猪突猛進しました。昨年夏の

衆参議院での数を恃んでの強引なやり方は記憶に新しいところです。戦争法が憲法違反であることは多くの憲法学者、かつての法制局長官・最高裁判官からも指摘されています。違憲な法律は撤回させなければなりません。

経済を成長させるとして防衛産業という名目の軍需産業に力を入れようとしています。いのちより経済が大事なのでしょうか。

専守防衛であるはずの自衛隊が、海外で人を殺し、殺されるようになっていいのでしょうか。

同じ日本の沖縄に、空港のみならず軍艦が寄港できる軍港、弾薬庫等を備えた新しい米軍基地を建設することを許していいのでしょうか

私たちはそんな未来を子や孫に残したくはありません。

日本は戦後「戦争をしない国」として諸国から信頼を得てきました。それを毀すわけにはいきません。皆さん、戦争法の廃止を求める統一署名やデモで意思表示をしましょう。戦争法に賛成した議員の方がたには次回の選挙ではご遠慮いただくとしましょう。

(福間 公子)

芦屋「九条の会」 11周年記念講演会

日時：6月4日（土）14:00～

場所：上宮川文化センター

講師：白井聡さん（政治学者・
京都精華大学専任講師）

日本の戦後がその出発点から歪んでいることを指摘した『永続敗戦論』の著者。「永続敗戦の帰結ともいふべき安倍政権を倒すことが最大のミッションである」と語る白井さんのお話を是非お聞きください。